

みどりの風

令和2年5月26日（火） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

緑の誓い：『進んで勉強します』の定着を目指して①

緑の誓いの2番目は『進んで勉強します』です。子ども達一人一人が将来の選択肢を増やし、可能性を大きく広げるためにも、確かな学力を身に付けさせることは学校の大きな使命です。そして何より、**進んで勉強に取り組もうとする構え＝学びに向かう力**を伸ばしていく必要があります。言い換えれば、勉強へのやる気を育てることが大事なのです。

そのための**キーワードは『分かる』**です。学習内容が「分かる」という実感の積み重ねが、学習に対する「自信」に繋がります。自信が高まれば、当然、勉強へのやる気も高まるはずですが、逆に、学習内容が「分からない」ことを素早く把握し対応することが「自信回復」に繋がります。学校では「分かる」を実感させるために、以下の2点に力を入れていきたいと考えています。

（1）分かる授業づくりの視点から

「分かる」授業づくりを進めることは私達教師の責務です。そのためには、全職員が一丸となって分かる授業づくりを進める必要があります。特に、経験の浅い教師を鍛え、指導技術を高めていく関係づくりが大切になってくると考えます。若手教師は、毎日、遅くまで残って次の日の授業準備をしています。そして、傍には、必ず先輩教師が寄り添い、指導やアドバイスをしています。失敗を糧とし、丁寧に事前準備をすることで「分かる授業」を創ろうと必死になっています。その姿に触発されて、職員全体が授業準備に懸命に取り組んでいます。この構えはきっと、子ども達に届くはずですが、



特に、授業づくりでこだわっているのが「めあて」の設定です。子ども達の好奇心・競争心・冒険心をくすぐる仕掛け、教師の「教えたこと」を子どもの「学びたいこと」に変える仕掛けづくりに力点を置いています。子ども達が「学ぶ必要性」を感じた時、学ぶ意欲が生まれ、一人一人の「分かる・できる」に繋がると確信しています。

（2）学級づくり、集団づくりの視点から

確かな学びを実現するためには、環境が重要になってきます。自分だけでなく、みんなと共に伸びようとする集団の雰囲気也不可欠なのです。そこで、次の3つのポイントを大事にした学級づくり、集団づくりを進めるようにしています。

①支持的風土がある学級、集団づくり

- ・失敗や間違いをしても受け入れられ、互いを認め尊重し合う集団

②自治意識の高い学級、集団づくり

- ・諸活動を通して学級（集団）への帰属意識が高く、話し合いで合意形成を図る集団

③規範意識の高い学級、集団づくり

- ・集団生活や対人関係におけるルールの意義を理解し、自主的に守ろうとする集団

次号では「進んで勉強します」パート②として、家庭学習の習慣化について述べます。